

# はぐくむ光のびる若芽

(17)

白磯 仲村 礼子

わが家の家族構成は、両親（農業）、私たち夫婦、2人の子供たち、計6人です。

私たちが夫婦は共働きのため、子供たちとゆつたりとした時間を過ごす事は数多くありません。休日でも農業が忙しい時は、どうしても仕事に追われてしまいます。

私の一日のスタートは、「早く起きなさい、早く仕度しなさい」で始まり、「宿題は終わった？ 歯磨きはした？」で終わります。自分ながら何んと余裕の無い接し方なのでしょうか、あきれれています。

長男は少し恥ずかしがり屋でマイペース、絵を描く事が大好きな小学6年生。

長女は人見知りせず、だれとでも仲良くなれる陽気な小学2年生。

この性格の異なる兄妹を、熱く見守ってくれて

いるのは私たちの両親です。食事を始め健康管理、生活面全般を両親に助けてもらっています。

一年程前の事だったかと思いますが、長男の持ち帰った給食当番のエプロンのボタンが取れているのに気が付きました。（給食当

## || 祖父母とのふれあいの中で ||



▲新潟県石打へ家族でスキーに

のボタンがきつと無かつたかも知れないよ。」と長男が言っています。

私は自分の言葉に「はつ」としました。何んだか子供から思いやりの心を、教えてもらった様な気がします。

これと云って特別な家庭教育はありませんが、祖父母と接する事で「人

番のエプロンは共有だったので」「取れたボタンがあったら付けるから出しなさい。」と、私が言っていると、私が無かった時からボタンは無いよ。」と言っています。「よそのお母さんは、ボタン一つ付けられなくてしょうがないなあ。」とぶつぶつ私が文句を言っていると、お母さん、よその家には丁度いい大きさ

への優しさ、思いやり」が身に付いたのかも知れません。まだまだ私たちが子育ては、両親の手を借りなければなりません。いつの日か、この家庭を巣立つ時が来ても、子供たちの心の中に一生の財産として、残してほしいものです。



### 家庭介護のポイント

#### ⑨ 床ずれの予防

#### ●床ずれの原因

床ずれは、自分で寝返りができず、同じ場所、とくに骨の突起部が長い時間圧迫され続けるために起こります。

床ずれには段階があり、初期は、発赤（皮膚の表面が赤くなった状態）にはじまり、次に、びらん（皮膚の表面が破れ浸出液がしみ出る状態）、潰瘍（びらんが出すみ、皮膚の深部までくずれてくる状態）、最終的には、壊死（細胞が死んで、皮膚が黒くなった状態）となります。

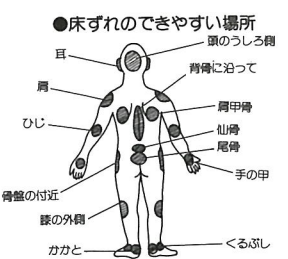
また、床ずれが、細菌に感染すると、膿がたまり、治りにくくなってしまいます。そのためにも、初期の

段階で、感染を起こさないうちに治す、予防することが大切です。

#### ●予防の方法

床ずれの予防には次のことが大切です。

- ① 定期的（できれば2〜3時間に1回）に体位を交換させる。
- ② できるだけすわらせておく。
- ③ エアマット、無圧布団、円座、クッションなどで、同じ所が長時間圧迫されない工夫をする。
- ④ 床ずれは、栄養状態が悪いとできやすいので、魚、肉、牛乳、卵などたんぱく質に富んだ食べ物を消化しやすくして食べさせる。
- ⑤ 入浴や清拭を毎日して、からだを清潔にし、マッサージ（できやすい所をさすったり軽くたいたたりして血行を促す）を行う。
- ⑥ 衣類や、シーツの清潔を保ち、とくに背中部分にしわをつくらないようにする。



●床ずれのできやすい場所

迫されないようにするとともに、周囲をマッサージし清拭を毎日行います。水泡を作ったときは、無理に破らないようにし、圧迫されないよう工夫します。水泡が破れたときは、消毒を何回も行い感染を予防します。(2)びらん、潰瘍のときは、消毒を充分に行い、時には適切な軟膏等を使用しますので、医師に相談しましょう。

(3)ポケット形成といって、外見は小さくても、内側に大きな膿ようがあるときには、医師による外科手術も必要となつてきます。

また、床ずれがあっても入浴は可能で、むしろ必要といえます。入浴後は充分に消毒しておきましょう。なお、初めて扱う場合、わからない点も多いと思われまますので、主治医や町の保健婦（保健センター ☎ 1158）に相談してください。

#### ●床ずれの治療

(1)発赤程度のときには、圧